

ベラルーシ日本語弁論大会 審査基準と順位の決定（審査員用）

2019 年 3 月

ベラルーシ日本語教師会
在ベラルーシ日本国大使館

論旨のわかりやすさ，具体性，説得力，発音，表現力，質疑における日本語運用能力，回答の的確さを評価点として，評価点の合計得点および審査員の合議により，順位を決定します。

質疑応答の質問は 2 問で，1 問目は弁論の内容に関する質問，2 問目は発表者の考え方を問う質問です。質疑応答は，発表者が弁論の内容をどこまで自分のものとして深く考えているかを確認するために行なわれます。

以下の①～⑦の 7 項目につき，10 点及び 5 点満点で評価します。合計 60 点満点。

- ・①～③ 弁論の内容（原稿）に関わる部分：30 点
- ・④～⑦ 当日の話し方・発表技術（口頭）に関わる部分：30 点

弁 論（50 点）

【内容】	①わかりやすさ	10
	②具体性	10
	③説得力	10
【話し方】	④発音	10
	⑤表現力	10

質疑応答（10 点）

【内容】	⑥回答の的確さ	5
【話し方】	⑦日本語運用能力	5

●評価ポイントの例●

弁論（内容）

①わかりやすさ（全体の論理性）

- ・論理的で，話の流れがわかりやすいか。説明不足や論理の飛躍はないか。
- ・話題が首尾一貫してまとまっており，無理なく言いたいことがはっきり伝わってくるか。
- ・聞き手への配慮があるか（聴衆になじみのない部分には適切な補足説明がある等）。
- ・想定される反対意見や別の考え方についても考慮されているか。

②具体性（事例や論拠の適切さ）

- ・広い視野から適切かつ十分な事例を踏まえて議論を展開しているか。
- ・明確な結論を主張できているか。

③説得力（結論としての主張）

- ・主張に納得・共感できるか。
- ・心打たれたり，考えさせられたりするか。興味深く魅力的か。
- ・論拠が単純過ぎたり，理解に苦しむ内容であったりしないか。

弁論（話し方）

④発音

- ・自然で流暢な発音か。
- ・聞き取りにくかったり気になったりする部分がないか。

⑤表現力

- ・緊張せず堂々とした態度で弁論を進めているか。
- ・適度な声の大きさではっきり話しているか。
- ・呼びかけ，抑揚，表情，間の取り方，物真似，声色等の適切さと巧みさ。

質疑応答

⑥回答の的確さ（内容）

- ・質問に対応した回答をしているか。
- ・言い足りない点はなく，十分な回答になっているか。
- ・自らの弁論の内容に合った適切な回答をしているか。

⑦日本語運用能力（話し方）

- ・文法や語の使用に特に目立った間違いがなく，自然な表現が使われているか。
- ・発音は聞き取りやすかったか。
- ・回答までに要した時間は長すぎなかったか。

●減点事項

各発表者の持ち時間は 5 分です（質疑応答を除く）。

タイムキーパーが 4 分、4 分半と 5 分にボードを見せます。

5 分半を超えたら 5 秒につき 1 点減点とします。